



毎日通っていた森が、  
思い出のつまった森が、突然なくなろうとしている。  
守ってきた理由を、大切にしたい思いをことばにしよう。

千葉市中央区「川戸の森」を育ててきた市民・有志による

## 森の環境を次世代につなぐ集い

日時	2023年5月29日（月） 10:00–12:00（開場 9:30）
会場	千葉市 川戸の森 くぬぎ広場 （千葉県千葉市中央区川戸町429–119）
定員	100名
参加費	無料（ドネーションチケットあり）
呼びかけ人	ちば街山保全会（川戸の森管理者）／高木ちえこ ちば環境情報センター／NPO法人地球守

- ・小雨開催。前日昼頃にメールで開催についてご案内いたします。
- ・内容は予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承くださいませ。

## 開催への思い

街中の森、里山の森。私たちは、身近な森はずっとそこにあり続けると信じ込んでいたかもしれません。千葉市中央区の住宅地に、市民緑地として保全されてきた「川戸の森」も。地域住民や周辺施設に通う方々が親しんできたにも関わらず、知らない間に不動産開発事業者の所有となり、突然に市民緑地が解除されることになりました。それまで市と市民とで協力して保ってきた大切な街の森が、これからもこうして次々と、突然失われてゆく。その先にどんな街の姿があるのでしょうか。

失われる前にできることはないか、そしてどのようにしたら、街中に残った大切な森を守りつなぐことができるか。立ち入り禁止となる直前の森で、多くの人とともに考えてみたいと思います。

## 「森の環境を次世代につなぐ集い」呼びかけ人



**手戸博信** 1969年千葉市生まれ、千葉市在住。ちば街山保全会代表。Professional Tree climber。マスター樹護士アーボリスト。



**高木ちえこ** 千葉市在住。漫画家・イラストレーター。代表作にコミック『とりあえず畑でくらししてみる』（KADOKAWA）ほか。



**小西由希子** 千葉市緑区で、長年里山の保全活動を主宰。NPO法人ちば環境情報センター代表。



**高田宏臣** 1969年千葉市生まれ。NPO法人地球守代表理事。高田造園設計事務所代表。著書『土中環境』『よくわかる土中環境』ほか。

参加費 無料/ドネーションチケットあり

### 申し込み方法

[peatix申し込みリンク](#)

- ・ [peatix](#)でお申し込みください。  
<https://kawadocommonforest.peatix.com>
- ・ [peatix](#)をお使いでない方、近隣の方は、当日直接会場にお越しください。



<アクセス> 川戸の森 千葉県千葉市中央区川戸町429-119

千葉中央バス「千葉県がんセンター」バス停より徒歩3分

- ・ JR千葉駅から  
東口2番バス乗り場から、誉田駅、鎌取駅、千葉リハビリセンター、大宮団地行き乗車。所用時間約25分。
- ・ JR蘇我駅から  
東口3番バス乗り場から、鎌取駅行き乗車。所要時間約16分。
- ・ JR鎌取駅から  
北口1番バス乗り場から、千葉駅行き乗車。所要時間約13分。
- ・ 自家用車の方 個別にお知らせします。

川戸市民の森  
Google マップ



### <タイムスケジュール>

9:30～ 開場、受付開始

10:00 お話し会開始

12:00 終了予定

\* 終了後、お昼ご飯交流会を予定しています。参加希望者はお弁当をお持ち下さい。

<持ち物> 飲み物、タオルなど 交流会参加者はお弁当をご持参ください。

<服装> 日除けの帽子、運動靴。小雨開催時は雨具・長靴必須。

イベント問合せ先  
[info@chikyumori.org](mailto:info@chikyumori.org)

NPO法人地球守  
<https://chikyumori.org>

イベント案内

